

## 資料 1

### 先行的腎移植を希望して献腎移植登録する症例に関する評価基準と評価法

1. 先行的腎移植の申請と登録が適正に行われることを検証するため、評価委員会において、希望者の基本的情報と登録時からみて過去 1 年間 3 ポイントの検査データを確認し審査する。
2. 先行的腎移植希望者の献腎登録判定用データ入力シート(別紙参照)に必要な事項を記入し、評価機構に提出し、判定を受けた上で日本臓器移植ネットワークに登録される。
3. 腎機能(eGFR)の計算は、20 歳以上は日本腎臓学会の推算式を、20 歳未満は Schwartz の式を用いる。
4. 急速進行性糸球体腎炎等の急激に腎機能が低下している症例を除き、慢性進行性に腎機能が低下し、申請時より 1 年前後で腎代替療法が必要となる症例を登録する。
5. 申請時の腎機能(eGFR)は、成人では 15 mL/分/1.73 m<sup>2</sup>未満を、小児と腎移植後腎機能低下例では 20 mL/分/1.73 m<sup>2</sup>未満を目安とする。
6. 評価機構において記載事項を吟味し、登録可能であるか否か判断する。
7. 先行的献腎移植登録に不適切と判断されるデータ異常がある場合は登録を認めない。しかし、その後先行的献腎移植登録可能な状況になれば再申請することができる。

### 参考式

日本腎臓学会 eGFR 推算式

$$\text{eGFR (mL/分/1.73 m}^2\text{)} = 194 \times \text{Cr}^{-1.094} \times \text{年齢}^{-0.287} \quad (\text{男性})$$

$$\text{eGFR (mL/分/1.73 m}^2\text{)} = 194 \times \text{Cr}^{-1.094} \times \text{年齢}^{-0.287} \times 0.739 \quad (\text{女性})$$

Schwartz の eGFR 換算式

$$\text{小児の推定 GFR (mL/分/1.73m}^2\text{)} = k \text{ (係数)} \times \text{身長 (cm)} / \text{血清 Cr (mg/dL)}$$

\* 計算式の血清 Cr は Jaffe 法を使用する。

\* 酵素法から Jaffe 法への換算は、Jaffe 法 = 酵素法 + 0.2 として計算する。

\* Schwartz の eGFR 換算式の係数は以下に従う

年齢別 k 値

低出生体重時 (1 歳未満) 0.33

正常出生体重児 (1 歳未満) 0.45

2~12 歳 0.55

女兒 (13~21 歳) 0.55

男児 (13~21 歳) 0.70